

令和4年度 松戸市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

下水道事業は、公共用水域の水質保全や住民の生活環境の向上を目指し、下水道の効率的な整備・維持管理を行っています。

下水道施設整備については、未普及対策、浸水対策及び地震対策を重点的に実施しました。

未普及対策では33.40haの整備を実施し、浸水対策としては、松戸新田地区の浸水解消を目的とした長津川雨水幹線工事に令和2年度から着手し整備を進めています。地震対策では収容避難所に指定されている市立小中学校11校にマンホールトイレを設置し、「下水道総合地震対策計画」に定めた64校全ての整備が完了しました。

(業務の状況)

本年度の普及率は88.39%で、前年度に比べ0.58ポイントの増加となりました。また、水洗化率は96.77%で前年度に比べ0.36ポイントの増加となりました。

有収水量は41,751,084 m³で、前年度に比べ618,396 m³の減少となり、有収率については、79.40%で、前年度に比べ1.42ポイントの増加となりました。

(経営の状況)

経営状況については、収益的収支における下水道事業収益11,325,266,637円に対し、下水道事業費用が10,711,604,792円となり、差し引き純利益は613,661,845円となりました。

また、資本的収支においては収入額4,509,500,600円に対し、支出額は7,500,393,626円となり、収支不足額2,990,893,026円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額191,998,631円、過年度分損益勘定留保資金154,318,545円、当年度分損益勘定留保資金2,544,575,850円、減債積立金100,000,000円で補てんしました。

(2) 経営指標に関する事項

経営の健全性を示す経常収支比率は104.17%で、前年度に比べ0.14ポイントの減少となりました。

償却資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は17.39%で、前年度に比べ3.17ポイントの増加となり、法定耐用年数を経過した管渠延長の割合を示す管渠老朽化率は9.96%で、前年度に比べ0.4ポイントの増加となりました。

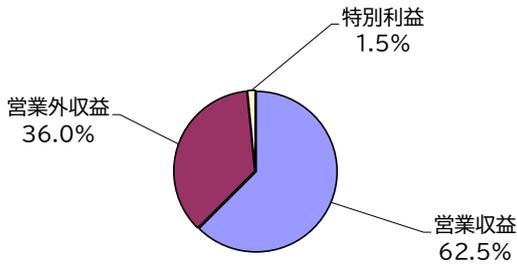
2 会計

(1)財政状況 令和4年度決算

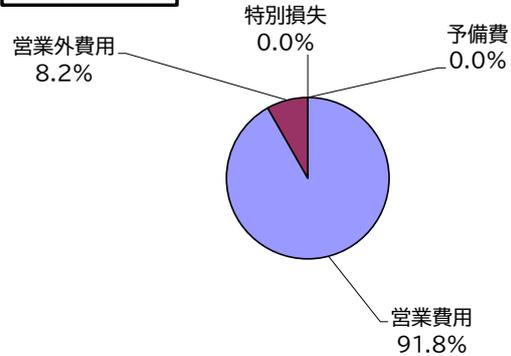
○収益的収入及び支出
(下水道施設の維持管理などに係る経費)

		(単位:円)		
	科目	説明	金額	構成比
下水道事業収益	営業収益	下水道使用料など	7,473,916,708	62.5%
	営業外収益	一般会計からの繰入金など	4,303,590,972	36.0%
	特別利益	過年度損益修正益	184,805,837	1.6%
	収入計		11,962,313,517	100.0%
下水道事業費用	営業費用	下水道管・処理場の維持管理費、減価償却費など	10,230,924,919	91.8%
	営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費など	924,310,363	8.2%
	特別損失	過年度損益修正損など	1,408,759	0.0%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
支出計		11,156,644,041	100.0%	

収益的収入の構成



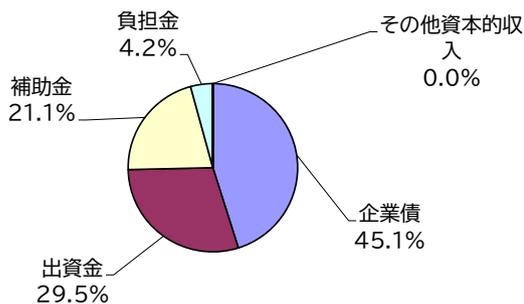
収益的支出の構成



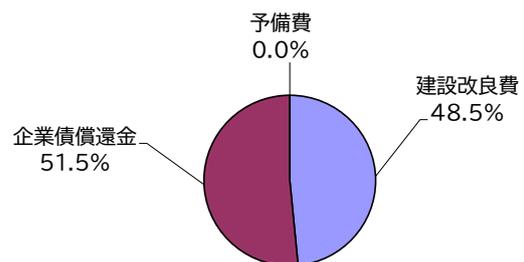
○資本的収入及び支出
(下水道施設の建設などに係る経費)

		(単位:円)		
	科目	説明	金額	構成比
資本的収入	企業債	企業債	2,034,700,000	45.1%
	出資金	他会計出資金	1,331,640,000	29.5%
	補助金	国からの補助金	951,709,450	21.1%
	負担金	下水道事業受益者負担金など	191,451,150	4.2%
	その他資本的収入	その他資本的収入	0	0.0%
収入計		4,509,500,600	100.0%	
資本的支出	建設改良費	下水道管の建設費用など	3,634,420,691	48.5%
	企業債償還金	企業債償還金	3,865,972,935	51.5%
	予備費	不測の支出に充てるために計上	0	0.0%
支出計		7,500,393,626	100.0%	

資本的収入の構成



資本的支出の構成



○企業債現在高の推移

(単位:千円)	
	未償還元金
平成30年度	51,960,210
令和元年度	49,989,750
令和2年度	48,476,388
令和3年度	46,970,323
令和4年度	45,139,050

